

第125回日本眼科学会共催セミナー
イブニングセミナー5

緑内障治療の知と実践 ～主流出路の理解と治療介入～

日時 2021年4月8日(木) 18:00～19:00

会場 第8会場 12F 1202
(大阪国際会議場) 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

座長

相原 一 先生
東京大学医学部 眼科学教室 教授



座長の言葉

緑内障における眼圧下降治療を考える上で、房水流出を促進させるのか、あるいは房水産生を抑制させるのか、作用点に着目した緑内障点眼薬の選択肢が増えつつあります。眼圧を低下させる方法を意識した治療ができるようになってきたとも言えます。本セミナーでは、房水流出の多くを担う主流出路に着目し、この経路の理解と治療介入について考えたいと思います。

緑内障治療のエキスパートである井上先生からはROCK阻害薬の基礎・臨床成績について、稲谷先生からは主流出路に関する最新のトピックスについてご講演いただきます。本セミナーが先生方の緑内障診療の「知」となり、それを日常診療で「実践」いただける機会になれば幸いです。

講演1

ROCK阻害薬の知と実践
～見えてきた真実と今後の期待～

演者

井上 俊洋 先生
熊本大学大学院 生命科学研究部
眼科学講座 教授



講演2

主流出路の知と実践
～見えないものが見えてきた～

演者

稲谷 大 先生
福井大学医学部 眼科学教室 教授



オンデマンド配信期間

2021年4月26日(月)～5月10日(月)

※聴講には本学会への参加登録が必要です。
※配信期間中はいつでも聴講可能です。
※詳細は第125回日本眼科学会総会のホームページをご確認ください。